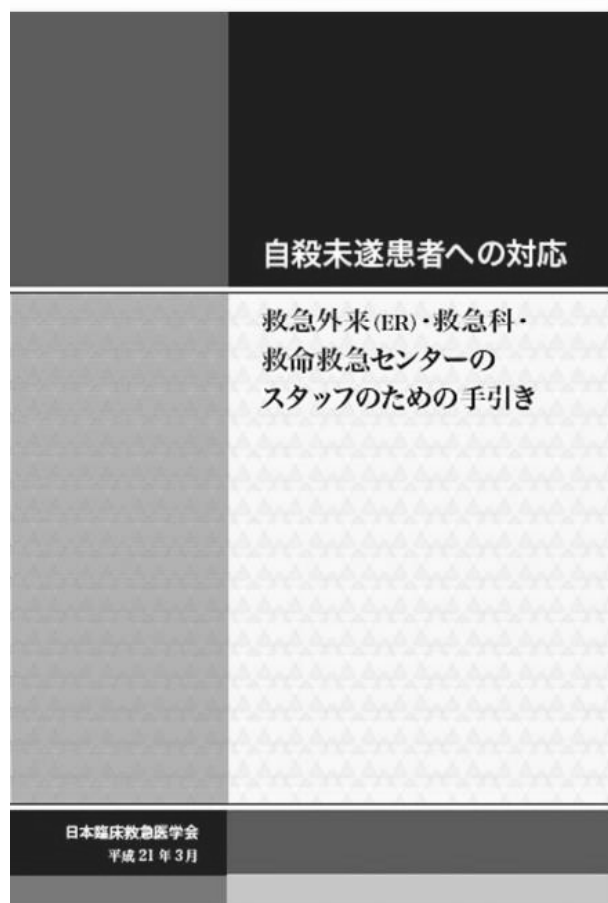


第6回自殺・うつ病対策等対策プロジェクトチーム

平成22年7月27日精神・障害保健課

- 診療の過程での自殺リスク評価
- 処方の方
- 投与期間
- 医師への普及方法等、医療の質の向上に向けた取り組み



目次

発行に際して	iii
手引きを使用するにあたって	v
I. 自殺未遂患者ケアの全体の流れ	1
II. 救急医療の現場での自殺未遂患者への対応のフローチャート	3
i) 情報収集	
ii) 自殺企図の手段と重症度の確認	
iii) 自殺企図の有無の確認	
iv) 現在の死にたい気持ち(自殺念慮・希死念慮)の確認	
v) 危険因子の確認	
vi) 外来での対応と入院適応の評価	
vii) 入院後—ICU、病棟での対応	
viii) 退院時までに行うべきこと	
1. 確認すべきこと、やるべきこと	
2. 退院の判断に慎重を期す患者とは	
3. 精神科へのコンサルテーション	
4. 医療ソーシャルワーカー、精神保健福祉士の役割	
III. 対応の流れ(看護師編)	17
IV. 対応の注意点	20
■ 対応の基本	
■ すべきこと	
■ してはいけないこと	
V. 家族への対応	24
VI. 再企図予防に関する情報提供	25
あとがき	26

平成 21 年度 自殺未遂者ケア研修

救急医療版

厚生労働省主催
一般社団法人日本臨床救急医学会共催

プログラム (※東京・大阪会場共通)

- 開会挨拶 10:20～10:30
厚生労働省 社会・援護局障害保健福祉部 精神・障害保健課 心の健康づくり対策官 成瀬 竜一郎
- 講義①「自殺未遂者対策がなぜ必要か」 10:30～10:50
講師：山田 朋樹（横浜市立大学附属市民総合医療センター 精神医療センター）
- 講義②「自殺未遂者ケアガイドラインについて」 10:50～11:10
講師：大塚 隼太郎（岩手医科大学神経精神科学講座）
- ワークショップについての説明 11:10～11:30
説明者：三宅 康史（昭和大学医学部救命医学講座）
河西 千秋（横浜市立大学医学部精神医学教室）
- 休憩 11:30～12:30 -----
- ワークショップ 「救命救急医療施設における自殺未遂者対応」 12:30～14:10
----- 休憩 14:10～14:20 -----
- 講義③「地域の自殺対策の取り組み」 14:20～14:40
講師：河西 千秋（横浜市立大学医学部精神医学教室）
- 成果物の発表会とディスカッション 14:40～16:20
- 講義④「自死遺族への対応と支援」 16:20～16:40
講師：智田 文雄（社団法人前徳会 岩手南和病院）
- 閉会挨拶 16:40～
厚生労働省 社会・援護局障害保健福祉部 精神・障害保健課 心の健康づくり対策官 成瀬 竜一郎

ファシリテーター

【大阪会場】
安部 由紀子（大分大学）／安東 友子（大分大学）／池下 克美（奈良県立医科大学）
南條 朝明（福岡大学）／船田 裕行（関西医科大学）／佐藤 真（近畿大学）／杉本 達哉（関西医科大学）
人見 佳枝（近畿大学）／松尾 真裕子（福岡大学）／山田 克沙子（関西医科大学）

【東京会場】
伊藤 敏雄（日本医科大学）／若本 洋子（横浜市立大学）／神谷 美智子（北里大学）
川崎 純高（日本医科大学）／川村 将代（岩手医科大学）／中村 光（岩手医科大学）
平野 みさわ（横浜市立大学）／山田 素子（横浜市立大学）／山本 賢司（北里大学）

自殺未遂者ケア研修[2010年1月 東京会場]



委員会企画

『自殺未遂者のケアに関する検討委員会』

自殺企図者への対応

—救急医療スタッフのためのリソース—

委員会企画

自殺未遂者のケアに関する
検討委員会

自殺未遂者への対応 —救急医療スタッフのためのリソース—

平成21年春に会員の皆さん全員に配布した「自殺未遂者への対応 —救急外来 (ER)・救急科・救命救急センターのスタッフのための手引き—」(厚労省のHPからも無料でダウンロードできる)は役に立っているでしょうか。「見ないうちに何処かにいった」、「書いていたことは尤もだが、そこまで患者に向える時間がない」、「具体的にどの場面でどう使えばいいのか」との声も聞こえてきそうです。そこで当委員会では、この手引きをテキストとして平成22年1月に東京と大阪で『自殺未遂者ケア研修』(厚労省主催、日本臨床救急医学会共催)を救急医療スタッフ向けに開催し、症例をもとにファシリテータとともにワークショップを行いました。今回、参加できなかった会員の皆さんにその内容の一部を紹介いたします。さらに、チーム医療で対応する自殺企図患者ケアの中で大きな力となっている精神保健福祉士 (PSW) と臨床心理士の活動や、現状で手に入る自殺未遂者ケアのための社会資本についても紹介したいと思います。当委員会は、悩める現場の医療スタッフの力となるべく今後も新たな活動を予定しています。また、会場で会員の皆さんの生の声を聞かせていただければ幸いです。

座長：三宅康史 (昭和大学医学部 救急医学)

- ・『自殺未遂者のケアに関する検討委員会』の取り組み
三宅康史 (昭和大学医学部 救急医学)
- ・WS 症例1. 致死性の高い自殺手段をとったうつ病患者の一例
山田朋樹 (横浜市立大学医学部精神医学)
- ・WS 症例2. 抑うつ状態の女性リピーターの自殺企図例
大塚耕太郎 (岩手医科大学精神科)
- ・自殺未遂者へのPSWの関わり
山田素明子 (横浜市立大学医学部精神医学)
- ・自殺未遂者への臨床心理士の関わり
高井美智子 (北里大学大学院医療系研究科・医療心理学)
- ・自殺対策に関わる機関とその窓口
成重竜一郎 (前厚労省社会・援護局 障害保健福祉部精神障害保険課心の健康係)
- ・質疑応答

精神疾患を有する救急患者に対応する 病院への補助事業を拡充しました！！

- 救急医療現場において精神疾患を有する患者の対応が大きな課題となっています。
- 精神・身体の両方の治療を行う受け入れ救急医療機関を強化するために、厚生労働省は平成22年度から、精神科救急医療体制整備事業を拡充しました。

拡充のポイント

- 救急救命センターなどの救急医療機関において、精神・身体の治療を必要とする患者の入院治療に備えるための空床確保料などの補助が受けやすくなりました。
- 地域の搬送ルールに基づいて、精神・身体合併症患者を積極的に受け入れる救急医療機関に対する、当直謝金などの補助を創設しました。
- 精神・身体合併症患者を後方搬送するための補助が受けやすくなりました。

※精神科救急医療体制整備事業とは

- ・都道府県が、精神医療相談、精神科救急情報センター、搬送体制、精神科救急医療、身体合併症救急医療等を地域特性に合わせて確保するための事業です。
- ・都道府県が実施主体となり、国が1/2を補助するもので、平成22年度は約23億円を予算計上しております。

※都道府県での実施状況については、都道府県の精神保健福祉担当課にお問い合わせ下さい。

詳細につきましては下記の連絡先にお問い合わせ下さい
事業に関する説明や資料の提供をさせていただきます



厚生労働省 社会・援護局障害保健福祉部
精神・障害保健課 精神科救急医療担当
課長補佐 寺谷 03-5253-1111(内線3067)
teratani-toshiyasu@mhlw.go.jp

日本臨床救急医学会 自殺未遂者のケアに関する検討委員会 現在の活動内容と今後の予定

- ・ 自殺未遂者への対応『手引き』の実用テキストとしてのFAQ集の作成(今年度末)
 - ・ 精神科救急患者への初期対応法を学ぶ初期診療コースの開発とガイドブックの発行
- [Psychological Emergency Evaluation & Care :PEEC™]
- ・ 精神科関連学会とのcollaboration
 - ・ 救急医療の現場スタッフへワークショップの提供
(今年度東京、大阪、仙台で開催予定)